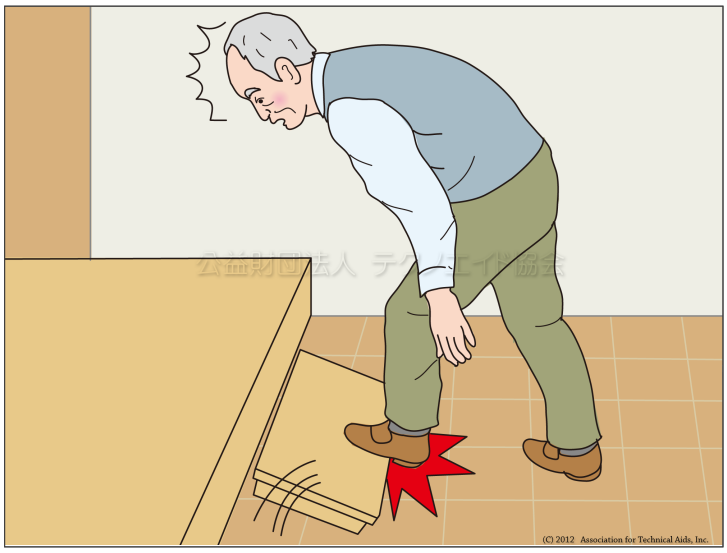
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：277

しっかりと固定されておらず、転倒しそうになる

場面の説明

固定されていない踏み台に足をかけたが、踏み台の端を踏んだために浮き上がってしまい、転倒しそうになった



利用シーン	移動
主な利用場所	玄関
介護保険の種目	ー
分類コード (CCTA95)	182418 (階段)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

玄関踏み台は、固定をするとお掃除の際に邪魔になるなどの理由で固定を嫌う傾向がありますが、安全に利用するためにはぜひ固定することをお勧めします。特に踏み面が狭いものや高さのあるものは転倒する可能性が高く、より注意が必要です。また、踏み台での動作は段差の昇降になりますので、単に踏み台を導入するだけではなく、手すりなどと併用するなど全体として安全な環境を整えるという視点が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：取り外しができるよう踏み台を固定していなかった
人：踏み台の端を踏んでしまった
モノ：端を踏むと簡単に倒れる踏み台だった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：277

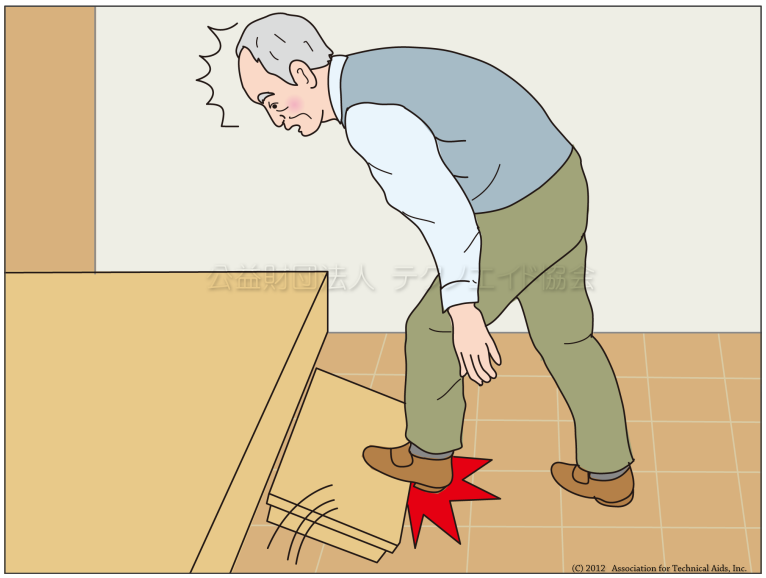
しっかりと固定されておらず、転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

固定されていない踏み台に足をかけたが、踏み台の端を踏んだために浮き上がってしまい、転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.